



# 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 IJTテクノロジーホールディングス株式会社

コード番号 7315 URL <http://www.iitt-hd.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 清水 康昭

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 増田 克己

TEL 03-5715-2681

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	76,581	—	2,509	—	3,122	—	2,001	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,676百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	41.11	—
26年3月期第2四半期	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	123,265	62,022	44.4
26年3月期	120,248	60,756	44.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 54,745百万円 26年3月期 53,181百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	7.00	7.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	49.2	4,000	46.1	4,800	61.2	2,700	△84.3	55.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	49,154,282 株	26年3月期	49,154,282 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	462,098 株	26年3月期	459,413 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	48,692,333 株	26年3月期2Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成25年10月1日に株式会社アイメタルテクノロジーと自動車部品工業株式会社ならびにテーデーエフ株式会社の共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されたため、平成26年3月期第2四半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日)の実績値はありません。
- ・決算補足説明資料は平成26年11月14日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、平成25年10月1日に株式会社アイメタルテクノロジーと自動車部品工業株式会社ならびにテーデーエフ株式会社の共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されたため、平成26年3月期第2四半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日)の実績値はありません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動はあるものの緩やかな回復基調が続きました。

トラック市場におきましては、国内では投資の活発化により需要は堅調に推移しましたが、海外ではタイを中心としたアセアン新興国での需要が落ち込みました。また、建設機械市場におきましては、国内では排ガス規制にともなう駆け込み需要の反動減の影響を受け、海外においてはインドネシア、タイ等のアセアン地域の需要が減少するとともに、中国での需要も大きく落ち込みました。

このような情勢下、当第2四半期連結累計期間の売上高は76,581百万円、営業利益は2,509百万円、経常利益は3,122百万円、四半期純利益は2,001百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,017百万円増加し、123,265百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,292百万円減少し、受取手形及び売掛金が3,604百万円、有形固定資産が1,847百万円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,751百万円増加し、61,243百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が2,036百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,265百万円増加し、62,022百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,614百万円増加したことによるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ2,332百万円減少し、10,699百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は、3,016百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3,087百万円、減価償却費4,160百万円、仕入債務の増加額3,169百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額3,674百万円、その他の流動負債の減少額1,909百万円、法人税等の支払額1,067百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果減少した資金は、5,808万円となりました。

これは、主に固定資産の取得による支出が5,796百万円であったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果増加した資金は、507百万円となりました。

これは、主に長期借入れによる収入が4,696百万円、セール・アンド・リースバックによる収入が715百万円であったことに対し、長期借入金の返済による支出が4,943百万円であったことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月7日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法を採っております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が87百万円増加し、利益剰余金が46百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,031	10,739
受取手形及び売掛金	21,233	24,837
たな卸資産	8,298	7,724
その他	3,644	3,917
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	46,205	47,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,486	17,623
機械装置及び運搬具(純額)	21,554	25,275
土地	17,473	17,330
建設仮勘定	13,998	8,455
その他(純額)	2,188	2,862
有形固定資産合計	69,700	71,547
無形固定資産	914	815
投資その他の資産		
その他	4,001	4,239
貸倒引当金	△573	△553
投資その他の資産合計	3,427	3,685
固定資産合計	74,042	76,048
資産合計	120,248	123,265
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,873	20,909
短期借入金	11,006	10,998
未払法人税等	989	1,385
賞与引当金	1,692	1,725
その他	10,182	8,921
流動負債合計	42,744	43,940
固定負債		
長期借入金	9,043	9,200
再評価に係る繰延税金負債	1,010	1,010
環境対策引当金	474	474
退職給付に係る負債	3,784	3,831
その他	2,434	2,785
固定負債合計	16,746	17,302
負債合計	59,491	61,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	22,538	22,538
利益剰余金	24,580	26,194
自己株式	△129	△129
株主資本合計	52,489	54,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	138
土地再評価差額金	1,543	1,543
為替換算調整勘定	△551	△710
退職給付に係る調整累計額	△361	△330
その他の包括利益累計額合計	691	641
少数株主持分	7,574	7,276
純資産合計	60,756	62,022
負債純資産合計	120,248	123,265

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	76,581
売上原価	69,862
売上総利益	6,718
販売費及び一般管理費	
運搬費	1,000
給料及び手当	1,318
賞与引当金繰入額	234
退職給付費用	46
その他	1,607
販売費及び一般管理費合計	4,208
営業利益	2,509
営業外収益	
受取利息	23
受取配当金	67
為替差益	426
持分法による投資利益	131
その他	291
営業外収益合計	940
営業外費用	
支払利息	123
シンジケートローン手数料	65
その他	138
営業外費用合計	327
経常利益	3,122
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除売却損	35
特別損失合計	35
税金等調整前四半期純利益	3,087
法人税等	1,231
少数株主損益調整前四半期純利益	1,855
少数株主損失(△)	△146
四半期純利益	2,001



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成26年4月1日  
至平成26年9月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	1,855
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	69
為替換算調整勘定	△399
退職給付に係る調整額	31
持分法適用会社に対する持分相当額	119
その他の包括利益合計	△178
四半期包括利益	1,676
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,951
少数株主に係る四半期包括利益	△274

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,087
減価償却費	4,160
のれん償却額	47
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20
受取利息及び受取配当金	△91
支払利息	123
持分法による投資損益(△は益)	△131
固定資産除売却損益(△は益)	35
売上債権の増減額(△は増加)	△3,674
たな卸資産の増減額(△は増加)	△465
仕入債務の増減額(△は減少)	3,169
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△270
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,909
その他	△56
小計	4,015
利息及び配当金の受取額	198
利息の支払額	△131
法人税等の支払額	△1,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,796
有形固定資産の売却による収入	31
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△22
その他	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,808
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	488
長期借入れによる収入	4,696
長期借入金の返済による支出	△4,943
リース債務の返済による支出	△84
セール・アンド・リースバックによる収入	715
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△341
少数株主への配当金の支払額	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	507
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,332
現金及び現金同等物の期首残高	13,031
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,699

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは自動車用等関連部品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。